

## Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 7月 17日公開

大阪より、アップデート

(日本時間7月17日21時～)

日本の大阪より、こんばんは。後ろには、200万人以上が暮らす、日本第二の都市が見えています。ここは、東京に次ぐ第二都市です。私は、素晴らしいミニストリーツアーの最後を、ここで迎えています。東京から始まり、そこでも素晴らしい集会を持ちました。続いて埼玉、それから熊本、現在は最後の大阪で、明日は2回講演を行います。その次に、オーストラリアのパースへと発ちます。



Figure 17月14日、中野ゼロホールにて

主が、ここ日本で行われている事、それからオーストラリア、ニュージーランドで行おうとされていることに、非常にワクワクします。皆さんのお祈りに感謝します。私にはお祈りが本当に必要です。実は東京で、非常に悪い出会いがありました。信じがたい事ですが、私と、このミニストリーを潰そうとする人たちがいて、とんでもないカルトと、秘密結社へと私を導こうとしています。その人たちがヨーロッパから、はるばる東京までやって来たのです。ほんの数秒、東京で私に会うために、はるばるヨーロッパから来た人に声をかけられた時の私の気持ちが、ご想像いただけるでしょうか。ですから、皆さんのお祈りが非常に重要です。世界中にいる多くの人にとって、私のこの口から出て来る言葉や、当然、この本（聖書）から告げられることが気に入らないのです。ですから、お祈りなしには、私たちは継続することが出来ないのです。どうか、引き続きお祈りください。それから、家に残っている私の家族のためにもお祈りください。私が海外に出ている間、こちらも非常に重要です。

今回のアップデートは、昨日ヘルシンキで行われた、プーチンとトランプの会談から始めます。今日お話するのは、その内容のすべてではなく、重要な議題の一つ、イスラエルに関してです。ロシアとアメリカの両大統領が、その会談の中でも、またその後行われた記者会見でも、イスラエルについて言及しました。非常に興味深いことに、現在、この二人の世界指導者たちの橋渡しとなっている世界指導者は唯一、ベニヤミン・ネタニヤフです。



Figure 2 米露首脳会談共同記者会見（左）と、ネタニヤフ首相（右）

ベニヤミン・ネタニヤフは、巧みにロシアの大統領との友好的な関係、効果的な関係を維持しています。ロシアのプーチン大統領は事実、ベニヤミン・ネタニヤフのことを賞賛していて、モスクワで行われたナチスへの

勝利の行進に、世界指導者の中から唯一、ネタニヤフだけを招待したほどです。また彼は、トランプと会った時に、問題をどのように持ちかけるかを知るため、首脳会談の3~4日前に、再びベニヤミン・ネタニヤフを招待していました。もちろん、トランプとネタニヤフは首脳会談の24時間前に、状況について話し合っています。

皆さん、イスラエルに関する会談の中で、ロシアとアメリカがシリアに関して、初めて合意したことがありました。

それは、イランは出て行かなければならない、ということと、

それからシリアは、1974年に結ばれた撤退合意を尊重しなければならないということです。

さて、これは聞こえがとても良く、約束のようにも聞こえます。

またこれは、ロシアとアメリカの大統領との、良い会談でした。

しかし、忘れないでください。

現地には、アラブ人たち、ムスリムたちがいます。

現地には、ロシア人でもなければアメリカ人でもない人たちがいて、彼らが我々のことを嫌っているのは確実です。そしてもう既に、我々の国境でおかしなことが起こっています。アサド軍の部隊のいくつかは、ヘルモン山の真横を占拠して、我々を完全に見下ろしています。これは、1974年の撤退合意の、完全な違反です。



Figure 3 ゴラン高原周辺地図

それ以上に我々に気がかりなのは、多数のイランの民兵たちが、アサドの兵士のような格好をしていて、それが我々の国境での、イランの地位確立となっている事です。まさにこのために、イスラエルは継続して、シリア国内のイランの標的を攻撃しているのです。数日前、アレppo市の側にある、イランの野営地を攻撃しました。20人以上の死者が出て、そのうちの9人はイラン人だったと言われています。このことから、彼らがまだあちらでウロウロしていて、我々に対して悪巧みをしていることが分かります。これは非常に興味深いことであり、また、我々が考慮すべき事ではないかと思います。以上が状況です。

次に、トランプとプーチンが合意したことは他にもたくさんあります。そこで皆さんにお伝えしたいのは、トランプ大統領はこの会談の中で、プーチンに一切何も与えませんでした。彼らがした事の全ては、ただ、国家間の関係を変えなければならないということに合意しただけです。もっともっと明確にお伝えすれば、民主党がトランプを攻撃し、彼をプーチンに会わせたくなかった理由は、プーチンがまさに“パンドラの箱”を開けようとしているからで、そうなると、多くの秘密が明らかになります。

その中の一つ、ロシアはヒラリー・クリントンに4億ドル以上を資金提供しています。

つまり要点は、これは様々な出来事の中の、ほんの一つだということです。

ただ、勘違いしないでください。

私は、ロシアが、アメリカの選挙に干渉したと思っています。恐らく、異なる選挙運動で、10~15回以上は干渉しているでしょう。しかし、さらに言えば、アメリカはイスラエルの選挙に複数回干渉しています。オバマ前大統領は、国民の税金を使って、ベニヤミン・ネタニヤフに敵対する機関に資金提供しています。前回の2016年の選挙でしたが、それは、表に出て公になりました。

あなたの家がガラス製なら、誰に対しても石を投げないことです。

ですから、これはスパイ行為があったかの問題ではありません。

それがあったことは、両方が理解しています。しかし、トランプ大統領が言ったのは、

「我々は常に、諜報機関だけに頼るわけにはいかない。」

その理由をお伝えしますと、彼が就任後、発見したのは、アメリカの諜報機関全体が、オバマのエージェント・NWO (New World Order:世界新秩序) によって汚染されているということ。それらは、ヒラリー・クリントンがホワイトハウスに入れるように、堂々と動いていました。

ですから、私たちは理解しておかなければなりません。

私たちは、全ての事実が分かるまでは、攻撃しないようにしなければなりません。

イスラエル人として言わせてもらうなら、私はアメリカ人でもありません。

ちなみに、私はトランプに投票したこともありません。

正直に言えば、彼が予備選挙で当選する前は、私はテッド・クルーズを応援していました。個人的に、私は、彼は良い人だと思いましたが、ドナルド・トランプの性格は好きではありませんでしたから。しかし、いったん彼が共和党の指導者となり、そして、対立するのが彼だけとなった時、私は、彼が何者であるのかを調べ始めたのです。そこで私は、この候補者の3つのことに興味を持ちました。つまり彼は、

- ① まだ生まれていない命に対して生命尊重派で、
- ② 家族の価値を尊重し、
- ③ 親イスラエル派

でした。私は、彼の立ち位置に気付いた時、これだ！と思いました。

私は、彼の過去は気になりません。

アメリカの大統領で、過去に汚点のない人はいないと思っていますから。

私が重視したのは、大統領として、彼がイスラエルの安全のために何をするのか、生まれていない命の権利のために何をするのか、アメリカ合衆国の家族構成を維持するために何をするのか。これが、私自身の良心です。しかし、残念ながら、皆さんに一つ言わなければなりません。

彼をホワイトハウスに送り込んだのは、クリスチャンたちです。

しかし、その彼らが、彼を攻撃するのを止めなければ、今度は、トランプをホワイトハウスから追い出してしまうことになる、と私は恐れています。

そうすると、また民主党の8年間となり、国を滅ぼすのかも知れません。

もしかしたら、それが原因で、アメリカは聖書預言に出て来ないのかも知れない。もしかしたら——私には分かりません。

ただ、私が言いたいのは、あまりにも長い間、クリスチャンの視点で正しいことを行なってくれる人を皆が待ち焦がれ、祈って来たのです。

それなら、私たちは彼の後ろ盾となり、助けなければなりません。

私は投票もしていませんし、ここの党员でもありません。

ただ、私は聖書を信じる者としての視点で、彼を見ただけです。

トランプに関しては以上です。

今や、誰もが彼を攻撃していますが、彼がプーチンと会うという、大きな間違いを犯したと言って、皆が彼を攻撃しています。

私は、そうは思いません。

私は、彼らは会わなければならなかったと思います。

事実、イスラエルのため、それだけでも、私たちのため、それだけでもあの会談は必要でした。なぜかと言えば、今は、アメリカから、ロシアから、イスラエルから、ヨルダンさえも、イランに対する完成した前線が見えて来ました。

ところで、シリアに関して、この首脳会談の成功への道を敷いたのは、ベニヤミン・ネタニヤフです。なぜかと言えば、5日前、ベニヤミン・ネタニヤフがヴラディミール・プーチンの所へ行った時、彼の視点を聞かれ、ネタニヤフは言いました。

「シリアの内戦に関しては、我々には全く関わりはありません。これは、我々の戦争ではないのですから。我々に関わりたくもない。我々が気にしているのは、イランの地位確立だけです。我々が嫌なのは、それなのです。だから、バッシャール・アサドが継続してシリアを支配することを、あなたがたロシアが望むのなら、それで構いません。我々は、この30年間、アサド一家とは一切何もありませんでしたから。我々にあるのは、イランとの問題だけです。だから、もしあなたがたがバッシャール・アサドに権力を持たせておきたいのなら、我々はそれでも構いません。我々は、その部分に関しては反対しません。」

ヴラディミール・プーチンは大喜びしました。

今度は、ネタニヤフが、それをアメリカに売ることが出来るからです。

アメリカは、バッシャール・アサドが権力を握り続けることを望んでいないからです。

そこで、ベニヤミン・ネタニヤフはトランプ大統領と話をし、言いました。

「トランプ大統領、イランさえ外れていれば、バッシャール・アサドが権力を握り続けることに関して、イスラエルは問題ありません。」

すると、トランプ大統領は聞きました。

「それなら、他の選択肢は何なのだ？」

ところが、他の選択肢はもっと悪いのです。

なぜかと言うと、反政府勢力はもはや、ただの反政府勢力ではありません。

アルカイダや、アルヌスラ戦線や、ISIS。

もはや、アサドよりも良いものではありません。

それなら、もう既に権力を持っている者、我々の知っている悪魔の方が、我々の知らない悪魔よりも、まだマシです。

まさにそのために、内戦が始まったダルア一の町は、バッシャール・アサドとロシアの手に堕ちたのです。

間違っただけじゃないよ？

ロシアは、イランにはあの地域へ入ることを一切許していません。事実、ヴラディミール・プーチンは、イランがシリア内で行なっていることに我慢がなりません。彼らこそが、他にもなく、あの地域に不安定をもたらしているのです。

ちなみに、イラクでも政情不安が起こっています。

政情不安の原因が、イラン自身の中にあります。

それから、イエメン、レバノン、シリアの国内にも政情不安の原因があります。

イランは、何億ドルという資金をつぎ込んでいます。ちなみに、ヨーロッパは、さらにもっと与えようとしていますよ。彼らは、これらの資金の全てを使って、中東を不安定にしようとしています。しかし彼らは、次から次へと敗北しています。

もしイスラエルが、彼らの秘密の核兵器を襲撃するだけで足りないなら、また、彼らがシリアに確立している社会基盤のほとんどを、我々が破壊するだけでは足りないのなら、イラクでは現在、彼らの庭が崩壊しつつあります。選挙に当選したシーア派の指導者が、今、イランに対して、自分たちの国から出て行け、と言っています。今、こうして話している間にも、イラクで暴動が起っています。そしてその暴動は、あちらで内戦を復活させました。政府事務所や、ナジャフという町の空港で、強奪、攻撃が起っています。それからシーア派の町、バスラとナジャフは南部ですが、さらに東部でも、スンニ派が別の反乱を始めています。彼らが求めているのは、イランの民兵と、イランの Qasem Soleimani がイラクから出て行くことです。もし、それで足りなければ、イエメンはまだ港町フダイダを維持していますが、彼らの町のほとんどが、スンニ派の手に再び陥りました。それだけで足りなければ、ロシアは、彼らがシリアで活動するのを許していません。

皆さん、イランは、今では自国で起っていることに関して、より危惧しているのです。国民は飲み水がなく、いたる所で毎日暴動が起っているのです。イランは現在、非常に大変なことになっています。そして現在、彼らが最も避けたいのは、トランプ大統領がもうすぐ中東にもたらそうとしている協定です。二日前、イランの指導者は言いました。

「アメリカの協定、トランプ大統領がまもなくもたらそうとしている“究極の協定”は、パレスチナ人にとって大惨事であり、彼らはそれを阻止する。」

もしイラン人たちが、アメリカの協定を恐れているなら、

そして、もしパレスチナ人たちが、アメリカの協定を恐れているなら、

言っておきますが、その協定は、イスラエルにとっては悪いものではありません。

余りにも多くの人が、トランプがイスラエルを裏切るとか、トランプがもたらそうとしている平和は、エルサレムを分断することをイスラエルに強要する、とか、様々な事を言って、皆さんを脅かしています。しかし私は前にも言いましたが、トランプは、少なくともトランプは、絶対にそんなことはしません。他の誰かがそれをするかどうかは、私には分かりません。しかし、トランプ大統領はそれをしません。

彼は、パレスチナの指導者に対して、イランの指導者に対して、ヨーロッパがあまりにもイランに味方することにも、我慢がならないのです。これら全ての偽善者たちが、発言しておきながら違うことをするのが、彼には我慢がならないのです。

念のために言っておくと、現在の中東全体で、プーチンとトランプの両方が愛しているのは唯一、ベニヤミン・ネタニヤフだけです。私がこれを言うのは、彼らがそう言ったからです。私が作り出した事ではありません。彼ら自身がそう発言したのです。

実際、トランプは昨日、Sean Hannity のインタビューに見事に答えて、

「ヴラディミール・プーチンは、ベニヤミン・ネタニヤフを賞賛している。

プーチンはネタニヤフを愛していて、ネタニヤフは中東安定への鍵だ。」

と言いました。

皆さんの中には、こんな風に思っている人がいるでしょう。

「アミールさん？あなたは、ロシアに関して警告を与える側ではなかったですか？ロシアは、イスラエルに攻めて来るのですから。」

そうです。聖書が、そう告げています。

しかし、聖書は、それが起こる日時は告げていません。聖書が告げているのは、「それが起こる」という事実です。現在は、イスラエルの存在が、ヴラディミール・プーチンの利益にかなうのです。ある日、イスラエル

が、シリア・ダマスカスを攻撃するとか、もしくは別のことが起こるのかも知りませんが、その時に、ロシアの利益とは、イスラエルに攻めこみ、滅ぼし、強奪し、物を分捕ることになるのかも知りません。しかし今の時点では、それは違います。また私は、それが明日にも起こるかのように言いません。私が話している今の時点では、これが中東の状況です。非常に興味深いことに、トランプ大統領は物凄く興味深いことを言い続けています。彼は、

「2020年の大統領選挙に再出馬し、勝つ。」

と言い続けています。

民主党には、誰もいませんから。

投票する価値のある者は、誰もいません。

メッセージは明確です。

北朝鮮に対して、イランに対して、プーチンに対して、それからパレスチナに対して、メッセージは実に明確で、

「もし彼らが、2020年の選挙までただらと引き延ばして、彼らの望むもの全てを与える民主党を待つつもりでいるなら、その考え方は変えた方が良い。」

これは、彼と、彼の政治家たちと政権とは、2024年まで動くことはない、という政治的メッセージです。そして、こういったことによって、全ての独裁者たちは、何か事を起こす前に、さらに良く考えるようになって来ています。また、彼は、一人一人に対応していくでしょう。ですから、これは自慢ではなく、実際には、彼らに、彼とともに対応させるためのツールなのです。ですから、彼が2020年の大統領選に出馬する、という事実は

「私は真剣であり、私は動かされない。」

ということ、彼らに理解させるためです。

ですから、皆さんにお伝えしておきます。彼に投票して、彼をホワイトハウスに送ったクリスチャンたちが、どうか、彼をホワイトハウスから追い出すような投票をして、間違いを犯さないでください。そうでなければ、あなたに与えられるのは、アメリカが崩壊する悪夢の8年です。現在、誰がトランプに敵対しているか、見てください。

20 …悪を善と言ひ、善を悪と言っている者たち。…やみを光、光をやみと…

(イザヤ書 5:20 抜粋)

言う者たちです。

誰が彼に敵対してデモを行なっているか、見てください。

彼の発言の全てに敵対しているのは、誰ですか？

彼の意見に関する事柄は、誰も知りません。

しかし彼らは、全てを知っていると思っています。

彼らは、文脈を部分的に取り出しているのです。実際、昨日、ある人がこんなことを書いていました。

「日本は、ヨーロッパ内で全ての関税を取り消すことを決定した。これは、トランプに対する公然無視だ。」

これはデタラメですよ。

これはまさに、トランプがヨーロッパに求めていたことです。

「両方の側でそれを取り消すか、

もしくは両方の側でそれを設けるかのどちらかだ。

あなたがたは、アメリカの製品には高額な関税を課しておきながら、我々は、ヨーロッパ製品には一切の関税を課していなかった。これはフェアではない。

だから、あなたがたがそれを下げて無くしてしまいたいなら、そうしようじゃないか！

日本が、あなたがたに対してしたのと全く同じことを、私たちもあなたがたに対して行なうことが出来る。しかし我々は、もうこれ以上、これを続けることは出来ない。」

皆さん、ここから要点です。

この世を動かしている、もしくは、この世を動かそうとしている、裕福な一族の集団が存在します。

ジョージ・ソロスは言いました。

「トランプ大統領は、NWO（世界新秩序）にとって、最大の事故であった。」



Figure 4 ジョージ・ソロス

このグループの人たちは、次から次へと惨事を生み出して、現在、こうして話している間にも、リビア国内にいる70万人のアフリカ人移民が、ヨーロッパ入りするのを待っています。イタリアの新政府は、入り口で厳しく彼らの入国を止めています。だから今、彼らはスペインに行っています。彼らはもはや、中東を通過してやって来ません。彼らは今は、スペインを経由して、西側からやって来るのです。しかし、彼らはスペインで待機するだけか、もしくはドイツやオーストリアに行くから、スペインは心配しなくても良いのです。デンマーク政府は今や、デンマーク市民になる条件を厳しくし、

「彼らも我々の歴史や言語、その他を知らなければならない」というように、決断しました。

しかし皆さん、言っておきます。世界銀行や投資家といった、世界の upper class の集団は、ヨーロッパに何百万人という数の移民を受け入れるように、と強要しています。彼らは、あちらの大陸で問題を起こしている者たちです。

皆さん、お伝えしますと、フランスは先日、ワールドカップで優勝しましたが、彼らが優勝して以来、フランスで何が起きているかご存知ですか？現在、フランスで起きていることに関して、今からコメント欄にリンクを投稿しますから、ぜひご覧ください。（書記注：7月24日現在、フェイスブックに投稿されたリンクに飛んでみましたが、「この動画は視聴できません」という状態です。削除された可能性があります。文末に補足）彼らは強奪し、破壊し、車を燃やしているのです。これが新しいフランス人の祝い方ですよ。ちなみに、その大部分は不法移民です。そして、これがそのお祝いです。フランスは、自分たちのテリトリーでこんな目に遭っているのです。

皆さん、言っておきますが、これはヨーロッパ中で起こっています。

間違っははいけません。

スウェーデンは我々をナチスと呼び、イスラエルの最大の敵でした。

また、現在、スウェーデンの人口の10%がムスリムです。

そのスウェーデンで、最新の統計によると、反移民はの政党が30%の支持を得ているのです。前代未聞です。

彼らは、5%に修正しましたが、問題は、他の全てが、彼らには勝ってほしくないのです。だから、彼らが政権を組まないように、他の勢力が集結しました。

皆さん、つまり何が起きているかという、これら全てを強制的に飲み込まされたヨーロッパは、遅れ、危険で、不安定で、非常に、物凄く暴力的な地域になっています。しかしそれも、ヨーロッパ人たちが救い主を呼び求めるまでです。その時には、あの、上流階級層の一族が、彼らの救い主を紹介します。彼らのメシアです。

それが何であるかは、我々は知っています。

この人物が反キリストになるのだと、私は信じています。

ダニエル書9章には、69週の後、エルサレムで神殿を破壊したローマ帝国が出たのと同じ場所、その場所から、70週目には反キリストも興ると告げている、と私は信じています。

皆さん、現在起きていることの全ては、中東であれ、ヨーロッパであれ、世界の他の地域でも確実に、見事に聖書に当てはまっているのです。

そこで私たちは、全ての事を、常に聖書の視点から見ることを忘れてはなりません。

あと少しでまとめに入りますが、その前に、もう一つお伝えしておきたい事があります。

昨日、私たちが熊本に向かっている飛行機の中で、私が祈っていると、主が示してくださったことです。

今の時代、皆が預言者を探しています。出来事を予測する人を、皆が求めています。たとえば、

「ブラッドムーン＝大惨事が起こる！」

「日蝕＝大惨事が起こる！」

何かを予測する人に、皆がついて行こうとします。

問題は、それが全く聖書に繋がっていないことです。

なぜなら、聖書は、その日、その時間は一切告げていないからです。

また、数ヶ月離れて起こる、たった一度のブラッドムーンや、たった一度の日蝕が前兆であるとは、聖書は全く告げていません。

聖書は、複数の出来事が同時に起こる、と実に明確に告げています。

さらに聖書は、その日、その時は誰も知らない、と告げています。

つまり、空で何かが起こる、ある特定の日を指定して、私が「それだ！」と言うことなど、絶対に出来ないのです。

皆さん、私たちの中の問題は、人が、自分自身を預言者へ導く役職ではなく、自らを預言者という役職においてしまっていることです。

イエスは預言者でもありました。

ヘブル人への手紙1章1節には、こうあります。

- 1 神は、むかし父祖たちいん、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、
- 2 この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。…

(ヘブル1:1~2a)

イエスご自身が、預言者たちが言ったことを信じなかった弟子たちをお叱りになりました。彼は、預言者たちの言葉について非常に多く言及され、

「わたしについて書かれている、全ての預言は成就しなければならない」



と言われました。(書記注：マタイ 5:17、ルカ 24:44 参照)

「預言など忘れてしまえ！これからは、わたしが言う事が全てだ！」

とは、彼は言われませんでした。そうではなく、

「預言者たちの言ったことの全ては」

と言われたのです。

ですから、常に「あれを見ろ、これを見ろ」と言っている人を見るのではなく、聖書を見て、聖書を読んでください。聖書だけが唯一、——詩篇 119 篇 105 節で、このように告げています。

**105 あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。**

(詩篇 119:105)

神の御言葉がなければ、私たちには道が分かりません。

私たちには、道を見つけることが出来ないのです。

この世は、闇の世界で、

イエスが、世の光です。

そしてイエスは、神のことばです。

そして聖書は「あなたのみことばは、私の足のともしび」だと告げています。

もしあなたが、天のしるしを指摘して、「この日だ！」とか「この瞬間だ！」とか「あれが起こる！」などと言えているのなら、あなたはこういった出来事について明確に告げている聖句をすっかり切り離して、実際にはあなたは、人々を光に導かず、闇に導いています。そしてどうなるかといえば、人々は物凄く落胆するのです。

ところが、驚いたことに同じ偽預言者たちが継続して集会に招待されて講演したり、本を書いて多額のお金を儲けたり、私にはかけ離れすぎて、理解出来ません。

ブラッドムーンはもう終わりましたが、実際に何か起こりましたか？

日蝕はもう終わりましたが、実際に何か起こりましたか？

7月28日にまた、ブラッドムーンだか月食だったかよく分かりませんが、これが大惨事の明確なしるしだ！と告げていました(書記注：2018年7月28日は皆既月食)。

もう何度も何度も間違っている、同じ人物です。

しかし人々は、未だにそれについて行きます。

ある人たちは、こういったことを信じていて、私のところに転送して来ます。

ところで、こういったジャンクを私のところに転送して来る人を、私は全て、直ちにブロックします！私は、こういったジャンクは要りませんから！

もしあなたがこういったジャンクを信じ、御言葉を調べないで、御言葉を足の灯火、道しるべとしないのなら、その欺きは、自分のところで留めておいてください。

私たち、神の民は、常に聖書に戻るべきだと強く思います。

私たちの慰めは、ここから来るのです。

これが、私たちを導きます。

何より、もし私たちに備えが出来ているなら、携拳がいつ起ころうと、大した問題ではないはずで、あなたに備えが出来ているなら、あなたは準備が出来ているのですから。

もし、あなたに備えが出来ていないのなら、準備は出来ていない。  
 絶対に、あなたは7月28日を待って備えをしたりしないでしょ。  
 今がその時、今こそ定められた時、受け入れの時です。今日が救いの日です。  
 ですからもし、あなたに備えが出来ていないのなら、もし、あなたが正しい生き方をしていないのなら、もし、あなたの中に、あなたは連れ去られるかどうか疑問があるのなら、もし、あなたが、本当に神が来て、私たちを連れて行ってくださるのだろうかと思っているのなら、  
 ——言っておきますが、あなたの生き方に何か問題があるはずですよ。  
 あなたの聖書理解に、何か問題があるはずですよ。  
 「携拳は聖書的ではない！」  
 「携拳という言葉は、聖書の中には出て来ない！」  
 と私に言って来る人がいますが、それは事実です。  
 「三位一体」という言葉も、聖書には出て来ません。  
 それなら、御父と御子と聖霊は、聖書には無いと言いたいのですか？  
 これを何と呼ぼうと、大した問題ではありません。  
 私たちはこれをヘブル語で「 」(?)、連れ去られる、集められるという意味です。  
 好きなように呼べば良いのですよ！  
 「連れ去られる」でも「集まり」でも。  
 呼び方なんて、どうでも良いのです！  
 聖書の第一テサロニケ4章を開いて、ご自分で読んでみてください。  
 イエスは来られ、私たちと空中で会われます。

16 …キリストにある死者がよみがえり、

17 それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。  
 こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。

(第一テサロニケ4:16b~17 新改訳2017)

その後私たちは、二度と彼から離れることはありません。  
 以上です！私たちは、ずっと彼とともにいるようになるのです！  
 それからイエスは、こう言っておられます。

3 …また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようになるためです。

(ヨハネ14:3 新改訳2017)

「あなたがたのいる所に、わたしも行く」ではありません。  
 そして、これら全ての興味深い点は、人々がこの出来事を逃すかもしれないというリスクをおかしていることです。

それからもう一つ、私が理解に苦しむのは、この世を、神の御国であると思いたいとは、一体どういうことですか？

この世が全てだ、これが私たちの得る事の出来る、最高のものだ、と。

ピリピ人への手紙3章では、私たちの国籍はここではない、と告げているのに。

私たちの国籍はここではなく、イエスが来て、私たちを連れて行ってくださる天にあります。私には、さっぱり分かりません。

それから私はいつも言うのですが、もし、あなたの足がまだ地についていて、そして、イエスが来られるのを目にしたなら、あなたは大変なことになります。

もし、あなたの足が地上を離れ、あなたが空中にいて、イエスが来られるのを目にするなら、あなたは素晴らしく祝福されます。それが、私たちに与えられている、祝福された希望です。私は空中で、イエスの顔を見たいです。そして、彼が地上に戻って来られる時には、私は彼の背中を見ていたいです。というのも、私たちは、彼を最高司令官として彼のすぐ後ろで馬に乗っていますから。これが、私の望むところです。

ですから皆さん、どうか、ご自分の心を探ってください。

その中に、何であれ、神を悲しませるものがないかどうか。

あなたは今日、彼と会う準備が出来ているかどうか、あなたの心を探ってください。

「大患難前携挙を信じる人というのは、楽な道を選ぶ人だ」

と考える人たちがいますが、正反対です。

この地上での時間がまだまだある、と思う方が楽だと、私は思います。

それがいつでも起こり得ると知っているなら、そのときあなたは準備を整えるでしょう。

その時、あなたは御言葉を伝えるでしょう。

その時あなたは見張り人となり、誰にでも伝えるでしょう。

「もうこれまでだ！ 備えをしろ！」

それが、もしあなたが「ああ。まだ最低でも7年はある。」と思うなら、まさに聖書が告げている通り、あなたは眠ってしまいます。

他の人たちのように、眠ってはいけません。

それから最後にもう一つ。

多くの人が

「私は、“患難中間期携挙説”に傾きかけている」

と言いますが、一つ、お伝えしておきます。

聖書は、大患難の中間期について、非常に明確に告げています。

実際、聖書は日数単位まで非常に正確です。

聖書は、イスラエルが1,260日間、荒野へ逃げると告げています。

3年半ということも出来ました。

それが、彼は、私たちに日数を教えておられるのです。

ですから、私たちに、その日その時が分からないのなら、中間期携挙なんて言えるわけがありません。患難の中間期なら、その日その時がはっきりと分かりますから。

その日、その時は誰にも分からない、という考え方は、唯一、患難前携挙でしか成り立ちません。

ここでまとめに入りますが、どうか次の二つのことを理解しておいてください。

今は終わりの日、終わりの時間です。

私たちは備えをして、準備が出来ていなければなりません。

だから、私は休みもせず、世界中に出て行って、祝福された希望について教え、これから起こる事を知って得られる、私たちの慰めについて教えているのです。なぜかと言えば、義の栄冠は、競走を走り抜いたパウロだけでなく、主の現れを慕っている者には、誰にでも授けてくださるからです。

お伝えしたかったことは以上です。実際には、他にももっとお伝えしたいことはありましたが、それは来週に持ち越したいと思います。あまりアップデートを長くしたくはないのです。最後に、皆さんにお伝えしたいのは、ユーチューブで直面している問題で、あちらで検閲が行なわれているようです。彼らが何をしているのか、なぜそれを行なっているのか、私にはよく分かりませんが、多くの人たちが私たちのユーチューブを見られないため、フェイスブックに行っています。ですからもし、ユーチューブで週ごとのアップデートが見つけれないなら、フェイスブックに行ってみてください。フェイスブックであれ、ユーチューブであれ、何があっても私は行きますから。出来る限り、常にユーチューブで行いたいです。フェイスブックライブを行い、それからユーチューブにアップします。とにかく、何かが行われているようで、それが何なのか私にはよく分かりませんが、それが早急に修復されることを願います。

ご存知ない方のために、わたしのインスタグラムは「beholdisrael」です。ぜひフォローしてください。フェイスブックは「Behold Israel」もしくは、私の公式ページ「Amir Tsafati」もあります。

私の本が出来上がりました。あと、一ヶ月ほどの間に発送されます。私たちもミニストリーで大量の本を購入していますので、南カリフォルニアや、カナダのバンクーバー、アイダホ、それからミネソタで行われる Jan Markell の「Understanding the time」といったカンファレンスで販売します。ですから、9月下旬より、オンラインでなく、私たちも本の販売を開始します。また、我々のミニストリーのウェブサイトより、オンラインストアでも販売します。ですので、私たちから本をご購入いただくと、ミニストリーをご支援いただくことになります。

それから、もう一つお知らせですが、2019年2月のツアーに、まだ20席ほど空きがございます。それと、来年12月のツアーに10席ほど。これだけなので、ご希望の方はぜひ席を確保してください。ご希望の方は、[info@beholdisrael.org](mailto:info@beholdisrael.org) にご連絡ください。出来る限り早くお返事します。

私たちのミニストリーのためにご支援、手助け、お祈りくださっている皆さん、ありがとうございます。

では、このアップデートをアロンの祝福で締めくくりたいと思います。

ヴェイシエメレハー וְיִשְׁמְרֶךָ ..(主が)あなたを守られますように	アドナーイ יְהוָה 主が	イェヴァーレフハー יְבַרְכֶךָ あなたを祝福し
--	-----------------------	------------------------------------

ヴィーフネッカー וְיִחַנֶּךָ ..(主が)あなたを恵まれますように	エーレーハー אֵלֶיךָ あなたに(向けて)	パーナーヴ פָּנָיו 御顔を	アドナーイ יְהוָה 主が	ヤーエール יָאֵר 照らし
---	--------------------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------

シャーローム שְׁלוֹם	レハー לְךָ	ヴェヤーセーム וְיִשֶּׂם	エーレーハー אֵלֶיךָ	パーナーヴ פָּנָיו	アドナーイ יְהוָה	イッサー יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜る	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イェヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー  
 ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー  
 イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

私たちの理解をはるかに超える平安、世には与えることが出来ず、理解することも出来ない平安、平和の君、平和の主だけが、今も永遠に、ここでも、どこでも与えることの出来る平安です。

イエシュア、イエスの御名によって祈ります。

アーメン。

アーメン！

ありがとうございます。

I love you! God bless you!

どうか、引き続き私のためにもお祈りください。これからオーストラリア、ニュージーランドと続きます。本当にワクワクする時間です。

日本の大阪より、God bless you all! Shalom!

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

7月14日、中野ゼロホールにて：Instagram beholdisrael “Had a wonderful time last night teaching the local saints in Tokyo!” Photo by Mayuko 2018.7.15

米露首脳会談共同記者会見：You Tube Fox News “Fallout from Trump’ s face to face meeting with Putin” 2018.7.16

ネタニヤフ首相：Wikipedia “Benjamin Netanyahu”

ゴラン高原周辺地図：Wikipedia “Mt. Hermon”

ジョージ・ソロス：Wikipedia “George Soros”

【補足】別の You Tube チャンネルで、ワールドカップ後のフランスの暴動を視聴することができますので、ここに紹介します。

Seeing it Clearer “Riots in France after 2018 World Cup Win vs Croatia!-(Compilation)”

[https://www.youtube.com/watch?v=FjL\\_maJHcVw](https://www.youtube.com/watch?v=FjL_maJHcVw)